



Title	岸総理大臣第1次訪米関係一件 準備資料 第1巻(6) 総理・国連事務総長との会見における発言要旨(案) 外務省外交史料館レファレンス番号: nd)
Author(s)	-
Citation	平成30年度外交記録公開 公開日: 2018年12月19日 外務省外交史料館管理番号: A'.1.5.0.4-2 CD・DVD番号: H30-001
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/44185
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

(6)

總理、國運事、總長との会見における発言要旨

(7)

大臣

岸総理の国連事務総長との会見における発言要旨(案)

三二、四、二六
国協局

昨年末以来、私から閣下^{貴総長}に度々書簡も差上げ、また、総会代表からも閣下^{貴総長}のことをいろいろ聞き及んでいるので、閣下^{貴総長}には初めて御会いするよう感じないのである。閣下^{貴総長}が常に極めて微妙な、かつ心労の多い任務を着実に遂行され、殊にハンガリー問題、スエズ問題の勃発に際しては超人的の努力を尽されたことを感得し、遙かに深甚な敬意を表していた次第である。

わが国は加盟以前から、国連憲章の目的及び原則の遵守を外交の重要方針としてきたが、加盟後の今日、私はこの方針を更に鞏固に維持、推進し、国連の事業に対する積極的寄与を図るは勿論、国連事務局にも優秀な者を送つて国連行政にも貢献したいと考えている。

極秘

右は世界平和と人類福祉の増進に寄与したいという日本国民全部の熱望の表現として、ここに申上げる次第である。

本日ここに親しく貴総長と会談する機会を得たのは欣快至極である。この機会に貴総長からも、わが国に期待されることを伺いたいが、私からも申上げたいことがある。それは先般松下正寿氏からも御聞き及びのとおり、日本国民は、政治的立場を超越^えて、全く人道的な立場から、核兵器実験の禁止を望んでおり、その実現のため、
国連に対し日本国民は絶大な期待を掛けているということである。
申すまでもないが、^{貴総長}閣下にも日本国民のこの気持を良く理解し且つ
記憶しておかれない。